

Q2 キャリア教育を推進するためには、どのようなことを理解するとよいですか。

キャリア教育を推進するためには、キャリア発達にかかわる諸能力等を理解し、学校の教育活動全体を通じて、組織的・系統的に子ども一人一人のキャリア発達を支援することが大切です。

1 キャリア発達にかかわる諸能力等を理解します。

子ども一人一人のキャリア発達の支援のためには、キャリア発達にかかわる領域及び諸能力等を理解する必要があります。(P53参照)

2 子どもの発達段階に応じた職業観・勤労観をはぐくむ学習プログラムの枠組み(例)について理解します。

職業観・勤労観をはぐくむ学習プログラムの枠組み(例)などに基づいて、各発達段階におけるキャリア発達を的確に把握し、発達における個人差に留意しながら、組織的・系統的に創意工夫ある諸活動を展開していく必要があります。(P54～55参照)

用語解説



◆ キャリア

キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議答申(2004年1月28日)では、「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」と定義されています。つまり、生涯の中で子どもや親、職業人や一市民など様々な役割や立場を経験する中で、「働くこと」を意味付け、それを積み重ねたものを「キャリア」ととらえる考え方です。

◆ キャリア発達

キャリアが子どもの発達課題の達成と深くかわりながら段階を追って形成されていく過程を意味します。つまり、職業人として必要とされる能力や態度を成長させる過程を意味します。(P54～55参照)

◆ 職業観・勤労観

職業や勤労についての知識・理解及びそれらが人生で果たす意義や役割についての個々人の認識であり、職業・勤労に対する見方・考え方、態度等を内容とする価値観を意味します。

その意味で、職業・勤労を媒体とした人生観とも言うことができます。また、人が職業や勤労を通して生き方を選択する際の基準であり、その後の生活によりよく適応するための基盤となるものです。(「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進に関する調査研究報告書」国立教育政策研究所生徒指導センター H.14.11)

キャリア発達にかかわる領域及び諸能力(例)



